

JAIにしゅうわ 産地情報 Vol.2



日照り続き！ 水不足 深刻...

梅雨入りしてからというもの、雨が降りません。水不足で中晩柑を中心に樹が弱ってきています。特にデコボンや清見は生理落果が加速しており、ベタ花だった伊予柑も豊作から不作に転じるほどの勢い…。中晩柑に比べると温州みかんは強い方ですが、それでも樹によっては生理落果の加速は否めません。実際に園地に入ると良くわかるのですが、開花時点で芽花のバランスが良かった樹や、芽が花に勝っていた樹の方が落果が激しいのです。

葉数が多い方が光合成が活発に行われるので強そうに思えるのですが、本年はそうでもないようです。今週雨が降らなければ灌水せざるを得ない状況ですが、各生産者それぞれ今の所は、確実に生産調整や品質管理ができる摘果作業を中心に、定期防除等に取り組んでいます。昨年秋に急激な肥大をしたため、少々の干ばつなら我慢！着実な作業を続けていく方が間違いなし、と原点に立ち返って作業に勤しんでいるところです。(苗木は灌水中)



干ばつで弱ったみかんの樹(葉が巻きはじめている)



干ばつで弱ったみかんの樹(葉が黄色になり落葉)



生理落果の様子(枯葉と落下果実)

もともと生理落果は1次落果・2次落果と起こるものですが、本年は干ばつの影響が強く、徐々に落果数が増えている状況です。



エコ栽培への取り組み



ナギナタガヤと防草シートの併用

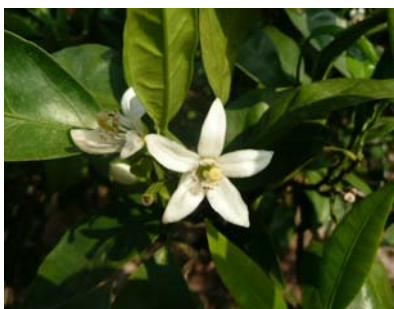


防草シートを被覆した園地

果実肥大の推移(果実サイズ平年比95%)

5月の連休明けに開花してからはや1ヶ月余りがたとうとしています。今では平均20mmくらいになりました。これからどんどん細胞が形成され肥大していくのですが、ここ最近の極端な干ばつで肥大も若干遅れ気味…。必至で雨乞いをしている所です。

今週雨が少なればいよいよ灌水の始まり。まさに水争奪戦の始まりです！週間予報では今日から曇天続きですが今の所、雨はなし。詳しい肥大状況(縦径・横径)や生産予想数などは次号に掲載します。現在のところ肥大は縦横平均で概ね**平年比の95%前後**です。



15月の開花(写真左)



6月の果実「1果21mm」→(写真右)
(この時期の平年値は約22mm)

まだまだ特定の生産者だけですが、地球に優しいエコ栽培で消費者の皆様に安全で美味しいものを届けたいという思いから徐々に取り組みが増えています。完全な無農薬栽培は外観上問題が生じるため減農薬栽培が主流です。農薬代がカットできるので経費削減になりそうですが、写真のような防草シートを使用したり、ナギナタガヤという勝手に枯れる草

を養殖したり、手間暇はもとより経費も以外とかかります…が、自然な状態で栽培することで太陽と大地の恵みをふんだんに吸収し、より美味しく育ちます。病害虫・イノシシ・鳥など通常栽培同様、いえ、それ以上に邪魔が入りますが、めげずに続ける生産者の方々に脱帽です。西宇和へお越しの際は是非見て下さい。



今が旬!

遂に、アジ・太刀魚・イサキの旬がやってきた！
都会では珍しいアジのフルコースや太刀魚の刺身など、西宇和へお越しの際は、是非、
当地の海の幸をご堪能下さい。



JAIにしゅうわ